

第16回 奈良甲状腺研究会

<ご挨拶>

この研究会は一般臨床医に甲状腺疾患を身近なものとして理解していただき、積極的に診断と治療にアプローチしていただくことを目的に立ち上げた研究会です。

今回は、東京大学大学院医学系研究科 榎田紀子 先生に副甲状腺機能低下症の治療についてご講演を賜る予定です。ぜひこの機会に日頃甲状腺疾患について抱いておられる疑問を質問していただければ幸いです。

当番世話人 榎松 由佳子

日時 : 2026年9月12日(土) 午後3時45分から午後7時00分

会場 : かしはら万葉ホール 研修室2

奈良県橿原市小房町11番5号 TEL:0744-29-1300

会費 : 1,000円(学生は無料)

専門医認定 : 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定更新単位 2単位取得

製品紹介 (午後3時45分 ~ 午後4時00分)

『チラーヂン静注液200 μ gについて』 あすか製薬株式会社 学術情報担当 石田 美幸

一般演題 (午後4時00分 ~ 午後5時10分)

座長 天理よろづ相談所病院 内分泌内科特定嘱託部長 辻井 悟 先生

1) 母親の診断を契機に判明した甲状腺ホルモン不応症の一例

奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科 森口 拓磨 先生

2) 心筋運動負荷シンチグラフィーで偶発的に頸部集積した巨大濾胞癌の一例

隈病院 内科 柵木 健吾 先生

(現所属: 奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科)

3) レセプトビッグデータ解析によるCOVID-19罹患後の甲状腺疾患発症リスクの解明:

インフルエンザ罹患後との比較

奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科 尾崎 邦彰 先生

(現所属: おざき内科医院)

教育講演 (午後5時20分 ~ 午後5時50分)

座長 奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科

部長 上嶋 昌和 先生

演題 『非自己免疫性甲状腺機能亢進症の病態』

演者 奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学講座

助教 榎松 由佳子 先生

特別講演 (午後6時00分 ~ 午後7時00分)

座長 奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学講座

助教 榎松 由佳子 先生

演題 『副甲状腺機能低下症の現在地とこれから』

演者 東京大学大学院医学系研究科 内分泌病態学

准教授 榎田 紀子 先生

共催 : 奈良甲状腺研究会 あすか製薬株式会社